

論文 / 著書情報
Article / Book Information

題目(和文)	都市プロモーションビデオにおける中国メガシティのイメージ形成の 枠組み
Title(English)	A Study on the Framework of Image of Chinese Megacities in City Promotional Video
著者(和文)	高小涵
Author(English)	Xiaohan Gao
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京科学大学, 報告番号:甲第336号, 授与年月日:2025年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:奥山 信一,塚本 由晴,山崎 鯛介,鍵 直樹,村田 涼
Citation(English)	Degree:Doctor (Engineering), Conferring organization: Institute of Science Tokyo, Report number:甲第336号, Conferred date:2025/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	審査の要旨
Type(English)	Exam Summary

論文審査の要旨及び審査員

報告番号	甲第	号	学位申請者氏名	GAO Xiaohan		
論文審査 審査員		氏名	職名		氏名	職名
	主査	奥山 信一	教授	審査員	村田 涼	准教授
	審査員	塚本 由晴	教授			
		山崎 鯛介	教授			
鍵 直樹		教授				

論文審査の要旨 (2000 字程度)

本論文は「A Study on the Framework of Image of Chinese Megacities in City Promotional Video 都市プロモーションビデオにおける中国メガシティのイメージ形成の枠組み」と題し、以下の5章で構成されている。

第1章「Introduction」では、メガシティという世界的な現象および都市の表象に関する言説の検討から、現代の大規模都市のイメージを実体験から読み取ることが困難な状況にあるなかで、メディアがそのイメージ形成に大きな影響を与えている本研究の視点を位置付け、大規模都市の代表例として中国のメガシティを研究対象とする意義と、これらの都市行政が制作した都市プロモーションビデオ(以下、都市 PV)を資料として用いる妥当性を示した上で、都市 PV に提示される都市の空間的特徴と都市生活の様態を分析するために、シーンとショットを分析単位として設定し、それらの映像の内容を主要素および従要素といった階層性を前提として具体的な要素を抽出して分類を行う研究の方法について示し、中国のメガシティのイメージ形成の枠組みを見出す本論文の目的を述べている。

第2章「Depicted Elements and Their Combination in City PV」では、都市 PV における描写内容をシーン毎に抽出し、それらを画面構成上での重要度から主要素と従要素に振り分けた上で、具体的な内容を《空間》と《活動》に大分類し、それぞれを《都市空間》と《建造物》、《文化》と《レジャー》といったサブカテゴリーに細分類し、さらに要素における歴史的属性の有無も含めて、都市 PV 毎に要素の組合せを検討している。その結果、メガシティにおける都市 PV の描写内容の共通性とその特性を、主要素の《空間》および《活動》の比率と歴史的属性の有無の比率を資料単位で相互に比較することで 6 つのタイプを位置付け、地理的および歴史的な共通性をもつ都市は同じタイプにまとまる傾向にあることを前提として、そこには都市間の政治力および経済力の差異表現が反映されたものと考えられることを指摘し、このことは、中国のメガシティのイメージは深い地域文化に根ざしながらも、現代都市の近代化に伴う社会的背景に適応する形で質的变化を遂げてきたことを示すものと位置付けている。

第3章「Depiction Form through Camera Technique and Scene Organization in City PV」では、都市 PV における描写形式を、ショット毎に写されている要素が映像表現として対象的か、環境的かといった基準を設定し、それらの資料単位での総体として「対象的へ偏る」か「環境的へ偏る」か、あるいは「均衡」しているかで各都市 PV を分類し、さらに一連の映像のなかで始点と終点および反復使用といった重要性を示す形式に該当する主要素に注目することで、都市 PV の描写形式の性格を検討している。その結果、特定の都市空間を他の要素との連関の主軸として繰返し示し都市の場所性を演出するもの、具体的な事物の記号性を強調し実際の都市空間から切り離された抽象的な都市概念を演出するもの、活動的な場面を多面的に描写することで都市の日常性や匿名性を強調しつつ都市空間の象徴性を薄めるもの、事物の主体性を強調することから都市像に浮かぶ記号の集合を介して都市を認識させるもの、といった4つの描写形式のパターンを見いだしている。

第4章「Framework of City Image of Chinese Megacities through Comprehensive Analysis」では、第2章および第3章で得られた結果を統合し、都市のイメージ形成に影響を与える要因を地理的、歴史的、経済的側面から論じている。その結果、内陸都市と沿岸都市の違いや、長江を境とした南北地域の差異、さらには国際的貿易経路となった地理的・歴史的要因が中国メガシティのイメージ形成の基盤をなし、都市の表象における視覚的およびテーマ的特性に重要な影響を与えていること、さらに地理的・歴史的・文化的要因は主に描写内容に影響を与える一方で、文化的要因は描写形式において重要な役割をなすこと、歴史的な文脈は描写内容と密接に関連し都市の歴史性やアイデンティティを強化する要因となっていることを明らかにした上で、中国以外の12のメガシティの都市 PV を扱った既往研究との比較を通して、中国のメガシティの都市 PV では世界的基準から判断して高度に発展し続ける大都市ではあっても、「自然」に関する描写内容の比率が際立って高いという傾向を位置付けている。

第5章「Conclusions」では、各章で得られた結果をまとめ、本論文で得られた知見を総括している。

これを要するに、本論文は、実体験での把握が困難なメガシティのイメージを、世界的観点から現在最も多くのメガシティを内包する中国の都市行政が競争的に制作し、インターネットメディアを通して発信している都市 PV を題材に、現代的な表徴としての都市が地理的、経済的、歴史的な文脈においていかに形成されているかの枠組みを見出すものであり、今後発展と衰退を強いられる世界のメガシティと人間社会との関係を検討しうる有効な方法論の萌芽を提示していることから、工学上および建築学上貢献するところが大きい。よって本論文は、博士(工学)として十分な価値があるものと認められる。